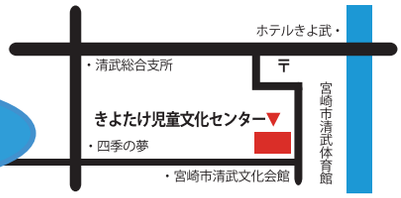
令和元年５月１日発行

「すずしろ」は大根の事。春の七草の一つです。漢字で「清白」と書きます。清武の清と名物千切り大根で有名な町にちなんで名付けられました。

宮崎市きよたけ児童文化センター

2019 すずしろ SUZUSHIRO No.366



◎子どもたちの風景を写真にとって広報誌で使用する場合がありますのでご了承ください。

おたのしみ教室で八角箱、作ったよ。

毎週金曜日の楽しい時間、おたのしみ教室で八角箱を作りました。パーツを何枚も折って組み立てると、紙の色や模様の違いで、同じ八角箱とはおもえないくらい、まるで宝箱の様ですね。

上手にできました。

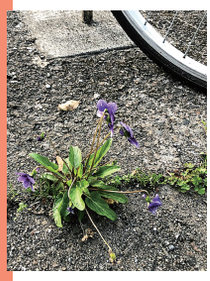
ＫＩＤＳリンガーズが介護センターぷらすを訪問して演奏をしました。ハンドベルの演奏を聴いて、おじいちゃんもおばあちゃんも喜んでくれました。リンガーズもずいぶん上手になりましたよ。

師範が２名誕生しフラフープ道が終了。

みんなで競い合ったフラフープ道、パタパタ落としていた子が、段を上げてきたり、上手な子がトップ争いをしたりで、なかなか盛り上がった一年でした。箸道、おてだま道、フラフープ道に続くは、「ピンポン道」。さあ、楽しくチャレンジしてくれたまえ。

「ふなじい」が戻ってきたよ。

一昨年「笑みこし」というテーマで造形作家の立花先生と子ども達が作った船引神社のクスノキをキャラクターにした、ほんわかしたみこしが児童文化センターに帰ってきました。２階の展示スペースに置きましたので、会いに来てくださいね。



Look!

清武駅の駐輪場のセメントに根を張って、可憐に花を咲かせたスミレ。

子どものためにお母さんが作る。

おもちゃ広場で、時々簡単なおもちゃ作りがあります。毎回、お母さん達が作るおもちゃには、市販のモノにはない優しい気持ちが込められていて子ども達も大喜びです。

★5/23 は紙コップで万華鏡を作ります。

本がかわいそうです。

本の返却に便利なようにもうけてあるブックポスト、休み明けの日の光景です。乱暴に投げ入れられると本が傷みます。みんなを楽しませてくれる本の扱いを、もっと優しくしてくださいね。

※開館時の返却はカウンターへお持ちください。

■Twitt館長■ 四月から五月へ

四月、年度始めの初めてづくし。

初めて親から離れ、保育園や幼稚園に通い始める子。寂しくて心細くて、不安なんだろうな。それから小学校。大きなランドセルをしょって門をくぐります。そして初めての「授業」。中学生になって小学校とは違う雰囲気に戸惑いを感じたりしませんでしたか？それが高校になると、今度は先生や授業のやり方、さらに随所から集まってくるクラスの中に、自分の認識外のいろんな生徒がいて軽くカルチャーショックを感じたりして。いよいよ大学生になると色々な社会体験を重ねながら、大人になっていく自分を意識したりする。他にも新任の先生が来たり、会社では違う部署に配属されたり、初めての地に転勤があったりして大忙しの四月。それは観察する一ヶ月とでも言おうか、ちょっと離れた位置から現状を見ている感じかな。「人の動きを見て自分の位置を測るべし」なんて言葉にすると難しそうだけど、実によくしたもので、こんな初めてを受け入れ、戸惑いながらも自分のポジションを見つけ、受け入れ、溶け込んでいくようになるから、人ってすごいよね。そんな観察の四月が過ぎて、いよいよ行動の五月。平成から令和へ。

※最近、公園内に忘れ物が増えています。

お隣の新川街区公園に関するお問合せは宮崎市役所農林建築課へお願いします。